

# 硬質レジンにみる歯科技工の効率化と付加価値

ヘレウスクルツァージャパン 研修センター 佐野 隆一

CAD/CAM の普及やグローバル化の進行など、近年の急激な社会環境の変化に対して、これからの技工業界に必要なものは何でしょうか。歯科技工の知識や技術はもちろんですが、もう一つ付け加えたいのはビジネス思考というものです。

例えば硬質レジン。効率的で無駄がなく、かつ再現性の高い硬質レジンの築盛ポイントは何か？ 目標や基準はどのように設定していくべきか？ そのためにはどのように発想すればよいのか？ ビジネス思考で考えることで見えてくるものがあります。そしてこの思考は、私たち一人ひとりにも十分に活用することができます。

そこで今回は、フロータイプが特徴の硬質レジン「シグナムコンポジット」をご紹介させていただく中で、歯科技工の効率化や付加価値を高めるためには何が必要かを、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

佐野 隆一 / さの りゅういち

【講師略歴】

1999年 日本大学経済学部産業経営学科 卒業  
2001年 東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校本科 卒業  
2001年 医療法人社団幸生 壺番館デンタルオフィス 勤務  
2011年 ヘレウスクルツァージャパン 勤務



スタディグループ「D-Technications」主宰  
東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校非常勤講師  
同校同窓会学術部所属

【主な受講コース】

- ・くれなる塾
- ・オーリアラ吉澤セミナー2期
- ・日本臨床歯科補綴研修会基本8ヶ月コース

【主な執筆等】

- ・ラボコミュニケーションの徹底活用！. 歯界展望 2007(8)
- ・デンタルテクニシャンから患者さんへの情報発信と価値の共有. 日本歯技 2010(3)
- ・1歯補綴から考える Dr-DT-DH チームアプローチの本質 (前編・後編). QDT2010(10, 11)
- ・一東日本大震災における被害・復興・支援活動— 3.11 歯科界の記録. 日本歯科新聞編 2012(3)
- ・コバルトクロム合金は陶材焼付用合金の1オプションとなりえるか?. QDT2012(8)
- ・陶材焼付用コバルトクロム合金の特徴とその問題点. 日本歯技 2012(9)
- ・CAD/CAM システムから考察する歯科技工の付加価値. 日本歯技 2012(11)
- ・Technication — 「特別」ではない「日々」の臨床へのアプローチ. QDT2012. 7-2013. 6